

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
太田 誠			
金4			
添付ファイル			

科目の概要	<p>(Hクラス用) 教育心理学は、教育にかんする諸活動を心理学的に研究し、その実践的な課題を解決するための理論と技術を提供するものである。児童・生徒の教育に携わる場合、その心理的諸特性を客観的に把握し、適切に対応していくことが望まれる。</p> <p>この講義では、幼児・児童・生徒の心身の発達および学習の過程を教育場面と結びつけながら検討する。また、障害のある児童・生徒の発達と学習の過程および教育現場での特別支援教育のあり方についても解説する。</p> <p>児童・生徒の心身の発達および学習の過程にかんする基礎的事項を理解し、教育心理学的な考え方を身につけ、指導場面に生かすことをめざす。</p>
授業の内容	<p>第1回 ガイダンス この授業の目標・概要・学び方の留意点など、教育心理学とは</p> <p>事前準備：事前にシラバスを読んでおくこと。テキストを持参すること。</p> <p>第2回 教育心理学とは（1） 心理学の中の教育心理学 教育心理学の概要、研究分野などについて解説する。</p> <p>授業後： 1) 復習課題を使って、心理学の定義や教育心理学の研究領域などについてまとめておくこと。その際、テキスト、ノートや配付資料プリントの内容などを確認しながら記入すること。 2) テキストで教育心理学の代表的な研究者について確認しておくこと。</p> <p>第3回 教育心理学とは（2）：研究方法1 観察、実験などの方法と教師の活動について解説する。</p> <p>授業後： 1) 復習課題を使って、基本的な用語についてまとめておくこと。その際、テキストや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。 2) テキスト、資料で紹介した観察・実験の事例について、目的、方法、結果をまとめ、その観察や実験からわかったことをまとめておくこと。</p> <p>次回の準備： 配布するケーススタディの資料を読んで、事例の概要をまとめておくこと。</p> <p>第4回 教育心理学とは（3）：研究方法2 検査、事例研究などの方法、研究倫理と教師の活動について解説する。</p> <p>事前準備： 事前に配布するケーススタディの資料を読んで、事例の概要をまとめておくこと。</p> <p>授業後： 1) 復習課題を使って、基本的な用語についてまとめておくこと。その際、テキストや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。 2) テキストを参考に、検査の種類をまとめておくこと。 3) ヘルシンキ宣言の概要を調べておくこと。</p> <p>第5回 発達（1） 発達のとらえ方、発達の原理、発達に関わる要因などについて解説する。</p> <p>授業後： 復習課題を使って、基本的な用語についてまとめておくこと。その際、テキストや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。</p> <p>第6回 発達（2）： 主要な発達理論と、運動・言語・認知・社会性などの発達段階について解説する。</p> <p>授業後： 1) 復習課題を使って、基本的な用語についてまとめておくこと。その際、テキストや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。 2) 授業中紹介した発達理論について、テキストを参照しまとめておくこと。 3) 乳児期、幼児期、学童期、青年期の発達の特徴を、テキストを参照し再度まとめておくこと。</p> <p>第7回 発達（3） 認知機能の発達について解説し、教育と発達との関わりについて検討する。</p> <p>授業後： 1) 復習課題を使って、基本的な用語についてまとめておくこと。その際、テキストや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。 2) ピアジェの発達段階およびピアジェ以降の研究についてテキストを参照し再度まとめておくこと。 3) 関連する自分の体験についてまとめておくこと。</p>

	<p>第8回 学習（1） 学習のとらえ方、学習の基礎過程（古典的条件づけと情緒・食物嗜好）について解説する。</p> <p>授業後： 1）復習課題を使って、基本的な用語についてまとめておくこと。その際、テキストや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。 2）授業中紹介した実験について、方法と結果をまとめておくこと。 3）関連する自分の体験についてまとめておくこと。</p> <p>第9回 学習（2） 学習の基礎過程（道具的条件づけと行動形成）、観察学習について解説する。</p> <p>授業後： 1）復習課題を使って、基本的な用語についてまとめておくこと。その際、テキストや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。 2）授業中紹介した実験について、方法と結果をまとめておくこと。 3）関連する自分の体験についてまとめておくこと。</p> <p>第10回 学習（3） 学習意欲と学習指導、学習における教師の役割などについて解説する。 それらを踏まえて、子どもへの具体的な言葉かけを考える実習も実施する。</p> <p>授業後： 1）復習課題を使って、基本的な用語についてまとめておくこと。その際、テキストや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。 2）授業中紹介した実験について、方法と結果をまとめておくこと。 3）関連する自分の体験についてまとめておくこと。</p> <p>第11回 学習（4） 授業過程の展開、教育評価について解説する。</p> <p>授業後： 復習課題を使って、基本的な用語についてまとめておくこと。その際、テキストや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。</p> <p>第12回 個人差の理解 知能、性格、認知スタイル等の個人差について解説する。</p> <p>授業後： 復習課題を使って、基本的な用語についてまとめておくこと。その際、テキストや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。</p> <p>第13回 障害のある子どもと教育 障害の種類と発達や学習の特徴・指導上の留意点について解説する。</p> <p>授業後： 1）復習課題を使って、基本的な用語についてまとめておくこと。その際、テキストや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら記入すること。 2）障害のある子どもに対する指導上の配慮について、テキストや配付資料プリントの内容も参照して、再度まとめておくこと。</p> <p>次回の準備：配付資料の事例を読んで、考えたことをまとめておくこと。</p> <p>第14回 教育現場での諸課題 いじめ 不登校 基礎学力の充実 教師の指導力などの問題の中から現場での問題を検討する。 資料の事例を読んで考えたことを各自発表し（プレゼンテーション）、問題点や対応策を話し合う（ディスカッション）。</p> <p>前回の授業で配付した資料の事例を読んで考えたことをまとめておくこと。 資料の事例を読んで考えたことを各自発表し、問題点や対応策を話し合う。</p> <p>授業後： テキストや配付資料プリントの内容、ノートなどを確認しながら、教育現場での諸課題についての対応を考え、まとめておくこと。</p> <p>第15回 まとめ  定期試験</p>
学習到達目標	<p>【知識】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心理学の基本的な考え方に関する事項について説明できる。</li> <li>2. 学習、発達の基礎事項について説明できる。</li> <li>3. 障害のある子どもの指導上の配慮について説明できる。</li> </ol> <p>【技能・態度】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 観察、記録、教授法、言葉かけ、環境構成、健康教育などに心理学的考え方を生かすことができる。</li> <li>2. データに基づいて考えることができる。</li> <li>3. 幼児・児童・生徒の心身の発達および学習の過程についての心理学的理解に基づいて、教師の役割やあり方を考えることができる。</li> <li>4. 障害のある子どもに対して指導上の配慮ができる。</li> </ol>
授業の方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 講義に加えて、実習、実験、体験学習、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション（発表）、復習課題による演習などを交えて授業を進めます。</li> <li>2. 授業時に「カード」を配布します。その回の授業内容についての質問や感想などを自由に記入して提出してください。提出されたカードは、授業の参考にすると同時に、みなさんからの質問で重要なものに対しては後の授業でコメントします。</li> </ol>

	<p>3. 授業時に「復習課題プリント」を配布します。  提出用：授業時に指示に従って記入し、提出してください。  保存用：提出用と同じ内容の自習用課題です。持ち帰り、ノートや資料、テキストの内容を確認しながら記入してください。</p>
成績評価の方法	<p>1. 課題（各回提出：20%）、定期試験（筆記試験：80%）により評価します。  2. 各回授業で提出の課題は授業内容の理解を助けることを主眼とし、評価の割合としては定期試験を重視します。  3. 授業出席が授業回数<math>\frac{2}{3}</math>未満の者および受講に著しく問題のある者については単位を認定しません。  4. 詳細は初回の授業時に説明します。</p>
教科書・テキスト	<p>1. 山崎史郎 編著 2010 教育心理学ルック・アラウンドーわかりたいあなたのための教育心理学ー おうふう  2. 桜井茂男 岩立京子編著 2010たのしく学べる乳幼児の心理改訂版 福村出版  3. 資料プリント  4. 視聴覚教材  5. 復習課題プリント（各回提出用、自習用）</p>
参考書	<p>1. 鹿取廣人 杉本敏夫 鳥居修晃 編 2020 心理学 第5版補訂版 東京大学出版会  2. 飯長喜一郎 岩立志津夫 2008 精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー第2巻 心理学 心理学理論と心理的支援 へるす出版  3. 阪本元子 編集 2005 子どもの栄養・食教育ガイド（補訂版） 医歯薬出版  4. 笠原賀子 編 2009 栄養教諭のための学校栄養教育論 医歯薬出版  5. 発達 ミネルヴァ書房（雑誌）  6. 児童心理 金子書房（雑誌）  他の参考書は授業中に指示する</p>
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	<p>1. 復習課題プリントを使って復習しましょう。授業時に「復習課題プリント」を配布します。提出用：授業時に指示に従って記入し、提出してください。保存用：提出用と同じ内容の自習用課題です。持ち帰り、ノートや資料、テキストの内容を確認しながら記入してください。疑問点はメモし、質問しましょう。  2. ノート、テキストや資料をくり返し読んで理解を深めましょう。詳細は授業時に指示します。</p>
履修上の留意事項	<p>基礎教育科目「心理学」の内容を復習した上で授業に臨んでください。</p>
オフィスアワー	<p>月曜日5限（事前に連絡してから訪問してください。）  その他の時間も可能な限り対応します。事前に連絡してから訪問してください。  授業内容についての質問をする際には、質問内容に関わるテキスト、ノート、プリント、筆記用具などを持参してください。</p>
実務経験	
その他	<p>履修者の既習科目の状況によって、授業内容を一部変更することがあります。</p> <p>授業開始時刻までに着席しましょう。  授業開始前に必要物（テキスト、ノート、筆記用具など）を準備し、配布物に目を通しましょう。  配布物をファイル等に整理しておきましょう。  授業中私語厳禁とします。授業中、携帯電話は電源を切り鞆の中にしめてください。  積極的に質問をしましょう。</p>